

2026 年 9 月 15 日
株式会社アマダマシナリー

縦型超速バンドソー「VCSAW-160」を販売開始

マシンと専用ブレードの一体開発により、革新的な切断スピードを実現



株式会社アマダマシナリー（神奈川県伊勢原市、代表取締役社長：田所 雅彦）は、縦型超速バンドソー「VCSAW-160」の販売を2026年9月15日から開始します。

「VCSAW-160」は、ブレードのひねり角度を最小限に抑えた新ソーヘッド機構を搭載。さらに、本機専用バンドソーブレードを新たに開発し、マシンとブレードの双方を自社で総合開発できる強みを生かすことで、従来の常識を覆す切断スピードと高精度な切断品質を両立しました。

代表的な機械構造用炭素鋼（S45C φ150mm）の切断において、従来のハイスバイメタルバンドソーブレードを使用した汎用バンドソーの11.6倍、超硬丸鋸盤の2.2倍という圧倒的な高速切断を実現します。また、加工ワークサイズは丸材φ160mm、角材幅160mm×高さ160mmまで対応。縦型構造の採用により設置面積を抑え、省スペース化を図りました。

昨今、金属加工現場においては、人手不足や技能者不足を背景に、切断工程における加工時間の削減や工場スペースの有効活用といった生産性向上のニーズがますます高まっています。当社はこのような課題に向け、マシンとブレードの性能を極限まで引き出すソリューションを提供することで、製造現場における省力化・省スペース化に貢献します。今後もお客様の課題に寄り添った製品開発で、製造現場を支えてまいります。

■主な特長

1. 高速切断を可能にする新ソーヘッド機構

ブレードのひねり角度を最小限に抑える新構造を採用し、ブレード胴部への負荷を大幅に低減。これにより胴部寿命を延ばすと同時にブレード走行速度を飛躍的に高め、最高300m/minの高速走行を可能にしました。さらに、従来のバンドソーや超硬丸鋸盤の約2倍となる22kW（30HP）の大容量ブレードモーターを搭載しています。また、ブレードのテンション力を高めた設計により切断時の切れ曲がりを抑制するほか、アマダ独自のインサート方式ブレードガイドの採用により摩耗を抑え、駆動モーターへの負荷軽減も実現しています。

2. 高速切断と高歩留りを実現する専用ブレード

本機専用開発したブレード「AXCELA VC-MS」は、刃材、歯形、歯先コーティング、歯底特殊加工の最適化を図ることで、高速切断と長寿命化を両立しました。また、刃厚2.1mmの薄刃設計を採用しており、従来の丸鋸刃と比較して切り代を約22%削減。高い歩留りを実現し、材料のムダを抑えます。

3. 省スペース設計と高速切断による工程集約

縦型構造を採用したことで設置面積を抑え、省スペース化を実現しました。さらに、圧倒的な高速切断性能により、従来複数台で行っていた切断加工を「VCSAW-160」へ集約することが可能です。設備の集約によって工場内のスペース創出と生産効率化に貢献します。

4. 作業環境の改善と自動化・IoTによる稼働率向上

従来の切削油に代わりMQL（ミストオイル）切断を採用。さらに、オプションのミストコレクターを組み合わせることで、クリーンな作業環境を実現します。また、お客さまのニーズに合わせた各種素材搬入・製品搬出装置をラインナップし、工程の自動化・システム化による作業負担の軽減とマシン稼働率向上に貢献します。さらに、アマダのIoT「V-factory」に接続することで、マシンの稼働状況の見える化と予防保全をサポートします。

■仕様

機種名			VCSAW-160
加工能力	丸材	mm	φ30～φ160
	角材	mm	幅30×高さ30～幅160×高さ160
ブレード	寸法（帯幅×帯厚×帯長）	mm	54×1.3×4650
	走行速度	m/min	50～300（インバーター無段変速）
モーター出力	ブレード	kW	22
バイス方式	リアバイス		移動式（ストローク720mm）
	メインバイス		固定式（割りバイス）
切断加工	工具冷却方式		セミドライ加工
マシン質量		kg	4300（本体のみ）

- 販売開始時期 2026年9月15日
- 年間販売目標 30台
- 販売価格(税別) 36,500千円(本体価格) ※日本国内販売価格

ご参考

VCSAW-160の商品情報は以下サイトにてご覧いただけます。

<https://products.amada.co.jp/products/product/?productid=id202114&language=1>

以上

※ 掲載の情報は予告なく変更される場合があります